

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Tomo de coco Frère 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日	～	令和7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日	～	令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供も難しくて嫌になるような事はなく。その子その子で同じ事をしていても変えてくれるとおもいます。 ・様々な事を実行して下さっているのが有難いです。 ・家庭では経験させてあげられないような事も多々あります。 	事業所の支援プログラムに沿った支援内容で日々の支援を行っている。今後も、こどもの特性に合わせた支援を行うと共に、様々な活動内容を行っていき、子どもたちの経験に繋げていきたい。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されている。	子どもたちの活動の様子が伝わるような写真・動画撮影を心掛けている。また、情報の新鮮さを維持するために、その日のうちにSNSに掲載できるようにしている。	保護者様に分かりやすい内容やより見やすくなるように掲載方法を改善していく。
3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	保護者の意向があった際には迅速に職員に共有し、改善できる点がないか話し合っている。	今後も継続して保護者様に事業所評価アンケートを実施し、事業所の質の向上に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	保護者様が、活動中のこどもたちを参観したことがないため、環境を上手く使っているか分からない。	今後、活動参観などのイベントを開催できるよう検討していく。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	事業所内のペアレント・トレーニングは行っていない。	令和7年度の「Tomoに育つ会(保護者会)」では、ペアレント・メンターの方をお呼びする予定となっている。今後も継続して行えるよう努めていく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	保護者会の開催により、保護者同士の交流の機会はあるが、現時点ではきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	必要に応じて開催の検討をしていく。保護者会については、お母様だけにとどまらず、様々な保護者様が参加できるように運営を行っていく。